

令和6年度在外公館長表彰式（第1回）：大使挨拶

本日は、令和6年度在外公館長表彰授与式をこのように開催できることを大変嬉しく思います。

今回は、日本とブラジルの相互理解及び友好親善に特別な貢献をされた、アレシャンドレ・フロリアン・ダ・コスタ氏及びリカルド・ファブリシオ・ロペス・カルドーズ氏のお二人を、私（駐ブラジル日本大使）から表彰いたします。

それでは、お二人の御功績について紹介させていただきます。

アレシャンドレ・フロリアン・ダ・コスタ教授は、日本政府の奨学金により研究留学生として京都大学大学院へ留学し、1987年に木材科学技術研究科・修士課程を修了されました。その後、当館の留学生事業実施において大いに貢献いただいています。例えば、当館がブラジリア大学において留学生説明会を開催する際には、ブラジリア大学内での調整を行うとともに、元国費留学生として、参加者からの質問にも熱心に答えてくださっています。2013年、我々の大使館は同教授との協力により、JASSO主催の第1回日本留学フェアを開

催しました。同イベントには UnB 技術学部に設けられたブースに日本の主要大学の代表者数名も参加され、盛況に終わりました。こうした UnB でのイベントが滞りなく開催ができるのは同氏の親身な協力があるからこそです。

また、同教授は研究留学生の選考において面接官を務め、優秀な候補者の選考に力を注いでくださっています。加えて留学生事業以外にも、日伯の学術交流においても大きく貢献されています。2012年、筑波大学副学長らがブラジリアを訪問した際に、ブラジリア大学関係者との会議を設置しその後、ブラジリア大学が筑波大学との国際交流協定を締結するにあたり、主導的な役割を果たされました。

次にご紹介するリカルド・ファブリシオ・ロペス・カルドーズ氏は、フェルナンド・エンリケ・カルドーズ元大統領等の警護経験を経て、連邦警察 DF 支部要人警護課において約20年に渡り各国要人の警護業務に従事され、長年日本政府から様々な要人がブラジリアへ来訪した際の警護担当（指揮官）を担っていただいております。今年5月の岸田総理訪問の際も各訪問先の警備ではご尽力頂きました。

警備業務は「何もないことが大きな成果」であり、日本の要人が無事にブラジリアでの外遊活動を遂行できているのも、それぞれの事

情に柔軟かつ適切に対応してくださっている、カルドーズ氏や連邦警察部隊の支えがあってこそです。本年の G20 ブラジルの各種会合に加えて来年は日本とブラジル外交関係樹立 130 周年を迎え、我が国から多くの要人の訪問が見込まれますが、今後も連邦警察との協力関係を強化してまいりたいと思います。

改めて、お二人の御功績に敬意を表し、また、御家族、御友人をはじめ、協力してこられた関係者の皆様に感謝しつつ、今回の受賞をお祝い申し上げます。

(了)